

根浜地区まちづくり協議会 議事要旨

記

- 日時 平成27年12月6日(日)15時00分～17時30分
- 場所 上中島復興住宅Ⅱ期3号棟1階 集会室
- 次第
 1. 挨拶
 2. これまでの計画の振り返り
 3. 最新の土地利用計画
 4. 現在の工事状況
 5. 工事期間の延伸
 6. 今後の工事予定及びスケジュール
 7. 市道箱崎半島線の工事予定
 8. 意見交換

前回のまち協で、工期が1年延びると発表した際に、次回は工期を絶対に守ると市長は言った。今回は5ヶ月延びるとの事だが、これについて市長はどう思っているか？どう責任を取るのか。すみませんでは済まされないと思う。五ヶ月の遅れを縮める事は出来ないか？

→ 大変申し訳なく思っています。我々といたしましては、工期スケジュールを守るように出来る限り努力をしていますが、実際に工事を行うと、様々な要因が出て参ります。工期の遅れについては、お詫びを申し上げるほかはございません。今回発表した5ヶ月の遅れの中で、何とか工事を終わらせることができるよう頑張ってお参ります。遅れの短縮については、当初6ヶ月の遅れがあった箇所を1ヶ月縮め、皆様にお示しいたしました。今後も工事を進めていく中で、工期の短縮に努めさせていただきたいと思っております。

水路（蓋なし）に落下防止の柵をつけるのか。

→ その箇所の水路は管を地中に埋める為、柵などはないと考えていただいて結構です。

一般の工事業者がこれだけ工期を遅らせた場合、賠償問題になると思う。市役所の方々が進めているのにこの結果は残念だ。工期が延びるとローンを組む予定もはっきりしない。できるだけ早く工事を進めてほしい。

→ 大変申し訳なく思っております。一刻も早く住環境を整えるために、現在お示ししている工期を守るよう最善を尽くして参ります。また、住宅再建の為に施工業者と契約を始めている住民の皆様につきましては、施工業者へ工程の説明などを行い、調整を図って参りますので、ご相談いただきたいと思います。

3月に住宅を建てる契約をハウスメーカーとしている。工期が延びると、ハウスメーカーが次の仕事に入ってしまう、家が建てられない。それについて補償してくれるのか。

→ 連絡をいただければ、工程調整等できることがあるか確認します。また、市からハウスメーカーへ説明をいたしまして、同様に工程や時期の調整が出来ないかご相談させていただきます。

①造成地には、当初から不安な思いを抱いている。この造成地には2本の沢があり、その沢が合流する箇所に15m以上の盛り土をして、家を建てる計画だと思う。安全だと説明を受けてはいるが、果たして本当にそうなのか疑問がある。以前、盛土をした後に残留沈下しないのかと聞いたとき、即時沈下すると説明を受けた。しかし我々としては、もっと詳細なボーリングデータや地質断面のデータを開示してもらわないと、造成をして安心できるか判断できない。データを開示した上で、改めて説明をお願いしたい。

②沢水の排水に関してだが、2本に分けて排水するというのはいいと思う。

③原地盤の断面データ等、情報の開示は可能か？

④西の沢は降雨時、すぐに水がでる。東の沢は2～3日経過してからでる等地盤構造はボーリング調査で分かって来たか？暗渠排水の目詰まりが起こる可能性はないか？

→ ①造成地において、2つの対策で守っていくことを考えています。1つ目は、押さえ盛土です。地震による円弧すべりを防止する為です。もう1つはそれに合わせて、この押さえ盛土を支える地盤を改良します。また、この造成地の転圧は必要な品質を確保するためには4回行う必要がありますが、更に高い安全性を確保するために6回転圧しています。時間はかかりますが、安心安全のために作業を進めている状況です。地盤沈下につきましては、即時沈下をするのか、その後も沈下し続けるのか計測を行っています。今後も計測を行っていく予定ですが、現時点では順調に地盤が馴染んでおります。

②沢水の排水に関してですが、10年確率で97mmの雨に耐えられる基準で整備しています。水路自体にも2割の余裕があります。

③今後、お茶会の際などにお見せしていきたいと思います。

④表面水は水路等で処理するので、問題無いと考えています。浸透した水は宅地に入り込まないように考えて処理しています。万が一、暗渠排水管の目詰まりが起こったとしても、管が水道をつくってくれるので造成地に影響を与えることはないと考えています。

この資料に書いてある沢の名称が、地元での呼び名と違うので覚えておいて欲しい。地元で言うところの西の沢は水が出てくるのが早い。神社を境に水の出方が違うので、それも伝えておく。

→ ありがとうございます。

- ① 自宅再建についての質問だが、事前着手承認があればハウスメーカーに頼んで地盤調査をすぐ出来るのか。
- ② 土地の金額がまだ決定していないが、いつ決まるのか。
- ③ 2月に提示された土地の金額で、ローンを組み始めても大丈夫か。

- ① 事前着手届けを提出いただき、承認がおりれば地盤調査も可能です。
- ② 土地の価格につきましては、2月にほぼ完全な金額を提示できる予定です。
- ③ 確定測量等により若干変更すると考えられるが、ローンの目安として考えて頂ければと思います。

- ① 従前の暗渠と、これから作る新しい暗渠は排水にどのような違いがあるのか。
- ② 宅地造成をする上で、市からは「工事は安全である」と説明を受けているが、それを判断するデータを見ていない為、安心できない。また、将来的に地盤沈下などが起こった際に、責任の所在がどこにあるのか・補償は受けられるのかなど回答して欲しい。

- ① 暗渠に入っていく水の量を数値化出来ないのが数字で説明できないが、雨の後2～3日に渡って、低地にある橋の近くから排水されているのを確認しているので、排水路の機能は確保されています。
- ② 将来の安全面に十分に配慮した上で工事を行っていますが、万が一何かが起こった際には、その原因をまず調査させていただきます。原因を調査し、宅地の造成が原因なのか、あるいはハウスメーカーの工事が原因のかなど確認した上で対応を協議させていただきます。様々なケースが考えられますが、もちろん土地を販売した市の責任の部分もあり、その責任は持ち続けますので安心して根浜で暮らしていただきたいと思います。根浜以外でもこの質問は出てきている状況ですので、いずれ市としての方針を皆様にお伝えする機会を設けさせていただきます。

①根浜から外部につながるアクセス道路が1本だけでは、観光客が戻った時混雑する。有事の際にも不安なので、もう1本道路を作れないか。また、現在の公園の敷地を今後どう利用するのか。計画があれば教えてほしい。

②集会所はいつごろ完成し、どのくらいの規模なのか。

→ ①鵜住居、根浜地区はスポーツ・リクリエーション地区としてどのような位置づけとしていくかを考えていくところではありますが、まだ具体的な計画を立てるまでには至っておりません。また、根浜の砂浜が自然に戻るには360年かかるといわれているため、人工的に手をいれることが必要です。県と協議をしておりますが、管理や施工の区分が今の時点では決まっております。今後誰が何の財源で整備するか検討いたします。避難路・道路を含めてもうしばらく時間を頂きたいと思います。

②集会所については、平成28年度に設計と施工を検討しております。根浜の世帯数で基準を考えますと、25坪、82平米の集会場となります。

根浜は早い段階から復興計画が発表されており、復興のモデル地区になるのかと思っていたが、どんどん完成が延びて残念だ。誠意のある言葉をかけてもらいたい。悪い報告ばかりではなく、良い報告もして欲しい。

→ 今後も出来るだけ早く工事を終わらせられるように頑張らせて参ります。

人が集まる空間づくりは、今後住民と一緒に考えていってほしい。出来ることを待っていた自分たちにも責任があると思っている。民間も出来ることを進めていきたい。一緒に空間づくりをしていきたい。

→ 来年度、観光ビジョンを作りたいと考えております。現実的な観点から根浜をどのように位置づけしていくか、住民の皆様と意見交換をして作り上げていこうと考えています。

工期が5カ月遅れるとなると住宅メーカーにも都合がある為、施工が後回しにされることも考えられる。市としては、ただ遅れますという事を報告するだけだろうが、現実には住民に様々な影響が出る事を認識して欲しい。富王姫神社を移転する計画があったと思うが、その後どうなったのか。役所にはその後の事もしっかり報告して欲しい。

→ 工事の関係で、移転する必要が出てくる状況でしたが、取り付け道路が今の場所になったことで移動の必要は無くなりました。したがって、富王姫神社は現在の場所のままで問題ありませんので、このまま工事を進めさせていただければと思います。今後も、報告に関してしっかり行っていきたいと思っています。

①根浜は来年度の国体トライアスロンの会場となるため、きちんとしたインフラ整備を求めてきた。工事が遅れている状況だが、国体時にどういった整備がされるのか。シャワー施設や駐車場についてはどのように考えているか？

②平成25年に低地跡地利用のワークショップをしており、26年度に予算確保して事業が動くと思っていたが、具体的な話は出ていない。どのような状況か。

③来年根浜に戻った時点から、災害にどう備えるかということが必要。低平地の取り付け道路については理解したが、有事の際に避難出来る安全なルートを2本は欲しい。今後道路を作るということは出来ないものか。

④当初44世帯戻るとの予定が、現在36世帯となっている。工期が遅れば遅れるほど、人口減少につながる。工事が単純に5カ月遅れるということではすまない問題なので、今後も引き続き頑張って欲しい。

→ ①会場地につきましては来年3月までに整備完了する予定です。水門は完成しませんが、自転車が走れる道路を整備しています。会場については、整備が終わる予定です。シャワーは会場地の緑地部分に仮設で整備します。

②現在、根浜だけではなく市全体の課題として取り組んでおります。根浜につきましては、平成28年度の復興計画と調整を図りながら、構想の具現化に取り組んで参りたいと考えています。

③現在、復興事業を復興交付金で対応しているため、道路をその予算で整備する事は出来ませんが、どういった整備手法があるか内部でも今後検討していきます。

④今後も出来るだけ早く工事を終わらせることができるよう頑張って参ります。

水門を横断する道路は、緩やかな道路にして欲しい。

→ もちろん水門のためだけの道路設計ではなく、ある程度緩やかな勾配を確保した形で工事を進めております。

①水路への蓋は設置する予定か？

②取水口の大きさはどの程度か？

→ ①主に平地部分で、人の往来がある箇所には設置する予定です。それ以外の場所についてはご相談いただきたいと思います。

②水を大きく取り込むような形で設置する予定です。

沢の先に取水口を取り付けるようだが、鵜住居の河川側についてはどうか。暗渠で対応するのか、車も通れるようにするのか、そういった細かいことも頭に入れた上で設計をしているか。

→ 今後、現地を確認しながら検討させていただきたいと思います。

(市長) : 長時間のご参加、ありがとうございました。たくさんのご意見、ご質問をいただきました。皆様の思いを、重く受け止めさせていただきます。5ヶ月間の工期の延伸につきましては、大変申し訳ありません。今後のスケジュールにつきましては、何とか守れるように全力を尽くして参ります。定期的で開催している「お茶会」にて、様々な情報をいち早くお伝え出来る様にさせていただきます。市役所の人間だけでは気付かない事もございますので、今後も遠慮なくお話をいただき、皆様が安心して住める根浜にしたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。本日はご参加ありがとうございました。

(閉会 17:30)

以上